第48回通常総代会　総代からの質問と回答

第４８回総代会へ向けて、総代からご意見・ご質問をいただきました。
ご意見・ご質問についてグリーンコープかごしま生協理事長、専務理事より回答を載せています。

第４８期総代会　書面議決書「ご意見欄」に寄せられたご質問・ご意見

＜かごしま北支部総代＞

質問組合員とは「ひとりの母親」「ひとりの女性」「ひとりの人間」という表現が今の社会これからの社会を考えた時に、表現に違和感を感じました。スタートはそこだったかもしれないのですが、これからの時代いろいろな立場の方が利用される可能性を考えると「母親」を強調するのは私は違和感を感じます。
回答ご意見ありがとうございます。約３０年前、「子どもたちに安心安全な食べものを」と願う母親たちが中心となって、グリーンコープを設立しました。「ひとりの母親」「ひとりの女性」「ひとりの人間」という表現には、当時の組合員の願いが込められており、原点として受け継がれています。
その一方で、今はジェンダーフリーが当たり前ですので、「母親」を強調することに違和感が生じるというご意見はその通りだと思います。各府県のグリーンコープにおいても同様のご意見が組合員から届けられており、２２年度共同体理事長会でこの表現について意見交換しています。結果、「原点としてこのままの表現を残す。社会情勢や組合員の考え方によって柔軟に表現していく」と整理しています。
今回は基本理念の意味でこの表現を用いましたが、今後はいただいたご意見を心に留め、丁寧に言葉を選んでいきます。

質問カーボンニュートラルに取り組むことは大切だと考えます。しかしながら、何にどう取り組んでいいのかが議案書からは見出せませんでした。取り組みをどのように行っていくのかについて、計画をくわしく知りたいと思いました。
回答ご意見ありがとうございます。カーボンニュートラルについて、現在グリーンコープ共同体としての全体方針を検討中であり、そこが確定した段階で各府県のグリーンコープで（臨時）総代会を開催し、総代の皆さんに審議いただきたいと考えます。具体的取り組み方はその際にご案内させていただきます。

質問毎回、チラシの数がとても多く、ほとんど目を通す時間がないので印刷や配布のコストがもったいなく感じています。今はネットで見ることができるので、紙のチラシが必要な方以外は減らすというのは難しいでしょうか？たくさん印刷するほうが安くなるのかもしれませんが、インクの使用等も環境に負担がかからない形を目指せると良いのではないかと考えます。
回答ご意見ありがとうございます。２年ほど前からオールグリーンコープでカタログの抜本的改革の検討を行っており、予定では２０２４年春からカタログの丁合（各カタログを製本し、順番にそろえる）作業が一元化（これまで各府県で丁合していたものが熊本県で丁合されて各府県に送り出される）されます。
また、①必要なカタログを個別で選択できるようする、②Ｗｅｂ注文の組合員にはカタログ配布を廃止する、③将来的には世代別カタログ（組合員の世代にあったカタログ）にする計画です。物価高の影響で紙代の増加は顕著です。また紙を減らすことは環境保全やカーボンニュートラルにもつながります。ぜひ積極的に取り組んでいきたいと考えます。

＜ほくさつ支部総代＞

質問活動報告にそれぞれの参加人数がほしい。どのくらいの組合員が参加され、活動の目的を達成できたのかを知りたい。
回答ご意見ありがとうございます。ご意見いただきました通り、参加人数を表記することで、活動の広がりが具体的にイメージできるかもしれません。総代の皆様に分かりやすい資料となるよう、改善に向けて、２３年度の総括会議で検討していきます。

質問総代会議案書に「脱原発運動にもこれまでと変わることなく取り組んでいきます」とありますが、２３年度はこれまで以上に取り組む必要を感じています。
九州電力は川内原発１・２号機の２０年延長運転を原子力規制委員会へ申請中です。川内原発は２０２４年と２０２５年に、それぞれ４０年を迎え、今、県民の大きな関心はこれ以上運転を許すわけにはいかないという気持ちが強いと思います。
組合員の命と暮らしを守るために脱原発運動に取り組んできたＧＣかごしま生協として可能な限り２０年延長運転を止める地域の取り組みに連帯してほしいと思います。そのためにグリーンコープ共同体へ具体的な運動（例えば署名活動など）を発信し協力をグリーンコープかごしま生協として呼びかけることを行ってほしいと思います。
回答ご意見ありがとうございます。２２年度は、２０年延長運転を止める取り組みとして、学習会や要望書の作成等を行ってきました。ご意見いただきました通り、「これまでと変わることなく」ではなく「これまで以上に」力強く脱原発運動に取り組む必要があると、真摯に受け止めました。
今後、原発立地県であるかごしまから、どのような脱原発運動を展開できるのか、グリーンコープ共同体の連帯を活かしていくことも含めて、理事会で検討していきます。

第４８回 通常総代会開催報告

※６月１３日（火）　※かごしま県民交流センター

島津雨の中、総代六十名の他、来賓の方にも臨席していただき、四年ぶりの時間短縮のない開催となりました。

亀崎理事長の開会の挨拶、来賓の挨拶のあと、二十二年度の活動・事業・決算報告、二十三年度の活動・事業方針と予算等、第一号議案から第七号議案まで担当理事・監事より提案がありました。
前もって届けられた質問・意見には、当日配布資料にて理事長、専務よりの回答を載せ、質疑応答での総代からの声に応えて読み上げられました。
質疑応答の後、採決が行われ全ての議案が賛成多数で承認されました。
二十三年度総代会では、第一回理事会と、退任理事挨拶の時間を別々にする事で、理事達も退任の挨拶を聞く事ができて、グリーンコープへの想いに共感しながら、二十三年度の歩みをスタートできました。
最後にスローガンが読み上げられて拍手で承認をいただき、無事に全てのスケジュールを終了しました。
コロナ禍の三年間を経て、皆で集える有難さをエネルギーに二十三年度も前進していきます。
組合員の皆さん、二十三年度もよろしくお願いします。
いのちとくらしの委員会　委員長　上川畑　愉未

２０２３年度グリーンコープかごしま生協役員体制
《全体区》理事　９名　員外理事２名　監事２名
《地域区》理事　１２名

２０２３年度スローガン

1. グリーンコープの産直農畜産物の利用を通して「生命を育む食べもの運動」を広げていきましょう。
2. 組合員・ワーカーズ・職員が連帯して、グリーンコープの良さを伝え、新しい仲間を増やし、さらなる利用定着と利用増をはかりましょう。
3. 店舗谷山店「みらい」と各地域のキープ＆ショップ、キープステーション、ファイバーリサイクル「ゆう＊あい」を利用する仲間を増やし、組合員と地域のお店として定着させましょう。
4. 原発フリーの「グリーンコープでんき」を広く組合員へ伝え、原発のない社会の実現をめざしましょう。
5. グリーンコープの４つの共生「自然と人」「人と人」「女と男」「南と北」について理解を深めましょう。
6. 「夢ヲかたちに理事会」で温めた組合員の夢をひとつひとつ実現していきましょう。
7. みどりの地球をみどりのまま子どもたちに手渡すために、カーボンニュートラルに取り組みましょう。

第４８回　通常総代会採決結果

総代数２００名
- 実出席６２名（議長２名除く）
- 書面出席１３５名
- 委任出席０名
- 欠席１名

	議　　案	賛成	反対	保留
第一号議案	２０２２年度活動・事業報告及び決算報告承認の件	196	0	1
第二号議案	２０２３年度活動・事業方針及び予算決定の件	196	0	1
第三号議案	除名決議による脱退手続き承認の件	194	0	3
第四号議案	定款変更の件	195	1	1
第五号議案	役員補充選任の件	196	0	1
第六号議案	役員報酬決定の件	196	0	1
第七号議案	議案効力発生の件	196	0	1

全議案、賛成多数により可決承認されました。

新理事あいさつ

かごしま北支部理事　井原　康子

みなさま　こんにちは、私はかごしま北支部の井原と申します。
昨年の４月から福祉委員会に参加したのをきっかけに、新しい出会いや、お声かけをいただき、地域委員会活動、子どもの居場所作りなどに参加させていただきました。
そしてこの度、グリーンコープかごしま北支部理事の一員となり、皆さまと共に歩んでいくことにとても感謝しています。
組合員として、１８年間本当に安全な食品や商品のおかげで、子育てと家族が支えられ、助けられていたのだと、この１年間の活動をとおして実感していました。グリーンコープの存在は、私の生活につねに安心と、共生の考え方、そして、子育ての視点を浸透させてくれました。それから、つながりの大切さをあらためて気づかせてくれています。
保育支援や家事支援、子どもの居場所づくりなど日常生活を支える取り組みにも携わっています。組合員の家族や子どもたちが心地よく憩える空間づくりに尽力できればと思っています。
これから、組合員一人ひとりが主人公であることを心に留めながら、ますますよりよい方向へ向かって循環していけますよう、活動の一助になれればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。